

と連携
か連
るグ
ばエ

障害者受け入れ就労訓練

まず皿、食材洗いに挑戦

社会福祉法人豊生ら・ばるか(夏目浩次代表)の障害者3人による就労訓練が17日、とんかつ店な

このように長期間、民間企業が本格的に就労訓練の委託施設となるのは、今回が初めてという。

とんとは就労できず、働いたとしても賃金は低い。それを知った加藤社長が「自分が力になれ

喜びを感じてもらいたい。今後も支援を続けていくつもりだ」と話している。

エッグでは体制が整い次第、別店舗でも3人の訓練生を受け入れる。夏目代表は「会社全体で訓練環境を整えてもらったのは全国でも初めてだと思う。これを機会に多くの企業から受け入

れの話をしていただければ幸いだ」と支援に期待する。障害者の就労訓練に興味のある方は社会福祉法人豊生ら・ばるかへ。電話0532(31)3120(尾本信彦)

どを営むエッグ(本社・豊橋市西口町、加藤ゆり子社長)と共同し、同店舗・かつ時向山店で始まった。8月9日までの3カ月間に及び、

この訓練は、障害者の自立のため訓練場を探していた夏目代表に、加藤社長が声をかけたのがきっかけでスタート。現在、障害者のほ

就労者を受け入れるに当たり、従業員らも快諾。5店舗あるグループ店からベテランスタッフを同店に配置替えし、教えるための環境を整えた。店長や従業員ら全員で、何度も接し方などを話し合った。



指導を受けながら野菜をカットする障害者(かつ時向山店で)

初日のこの日、訓練生は皿や食材洗いをを行った。担当スタッフの説明に元気よく応えた。今後、様子を見ながら別のメニューも学ぶ。加藤社長は「訓練生には、働くことの楽しさを知り、働く